



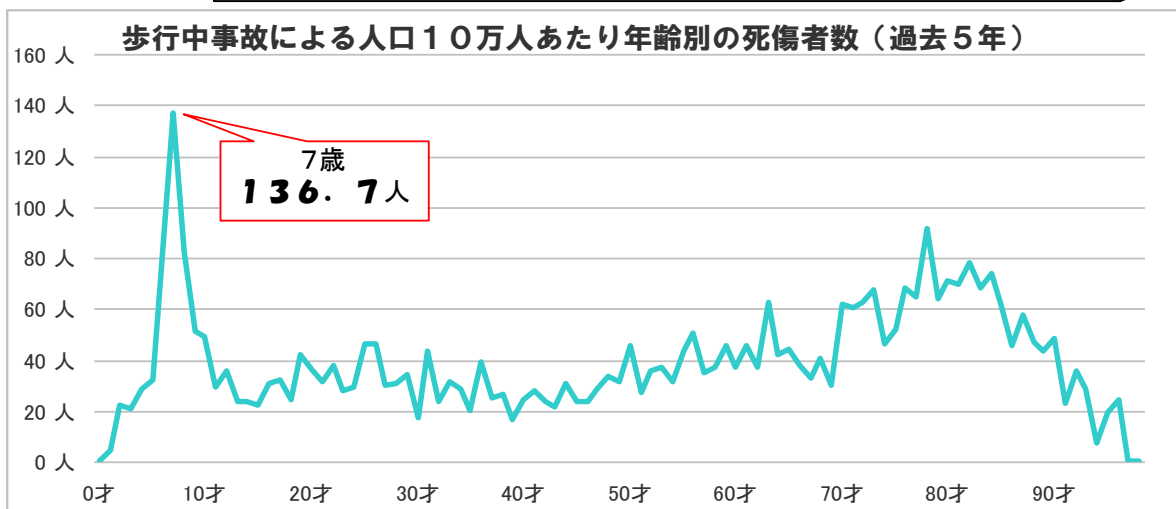
新入学期 子供の事故に要注意！



山口県において、平成24年から平成28年までの5年間に交通事故で死傷した歩行者を年齢別に分析しました。

その結果、人口10万人当たりの死傷者数では、7歳の被害が突出して多く、他の年齢層平均の約3.5倍となっています。

7歳は、小学生1,2年生に当たり、保護者を離れて行動する機会が増えることから、道路上の危険を察知できるようになるまでの間に、事故の被害に遭っていると予測されます。



※人口にあつては平成27年10月1日現在

家庭で教えたい 基本の交通ルールとマナー

- 必ず信号を守りましょう
- 道路に飛び出してはいけません
- 道路を横断するときは、手を挙げて左右の安全を確認しましょう
- 安全確認を習慣づけさせましょう
- 車のそばで遊ばせてはいけません



